

NIMS研究員（テニチャー）採用状況

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
応募者数 (外国人)	396 (264)	163※ (85)	263 (148)	269 (171)	215 (130)	237 (129)	209 (117)	139※ (71)
採用者数 (外国人)	14 (5)	17 (2)	11 (1)	15 (2)	14 (4)	16 (4)	15 (2)	9※ (1)

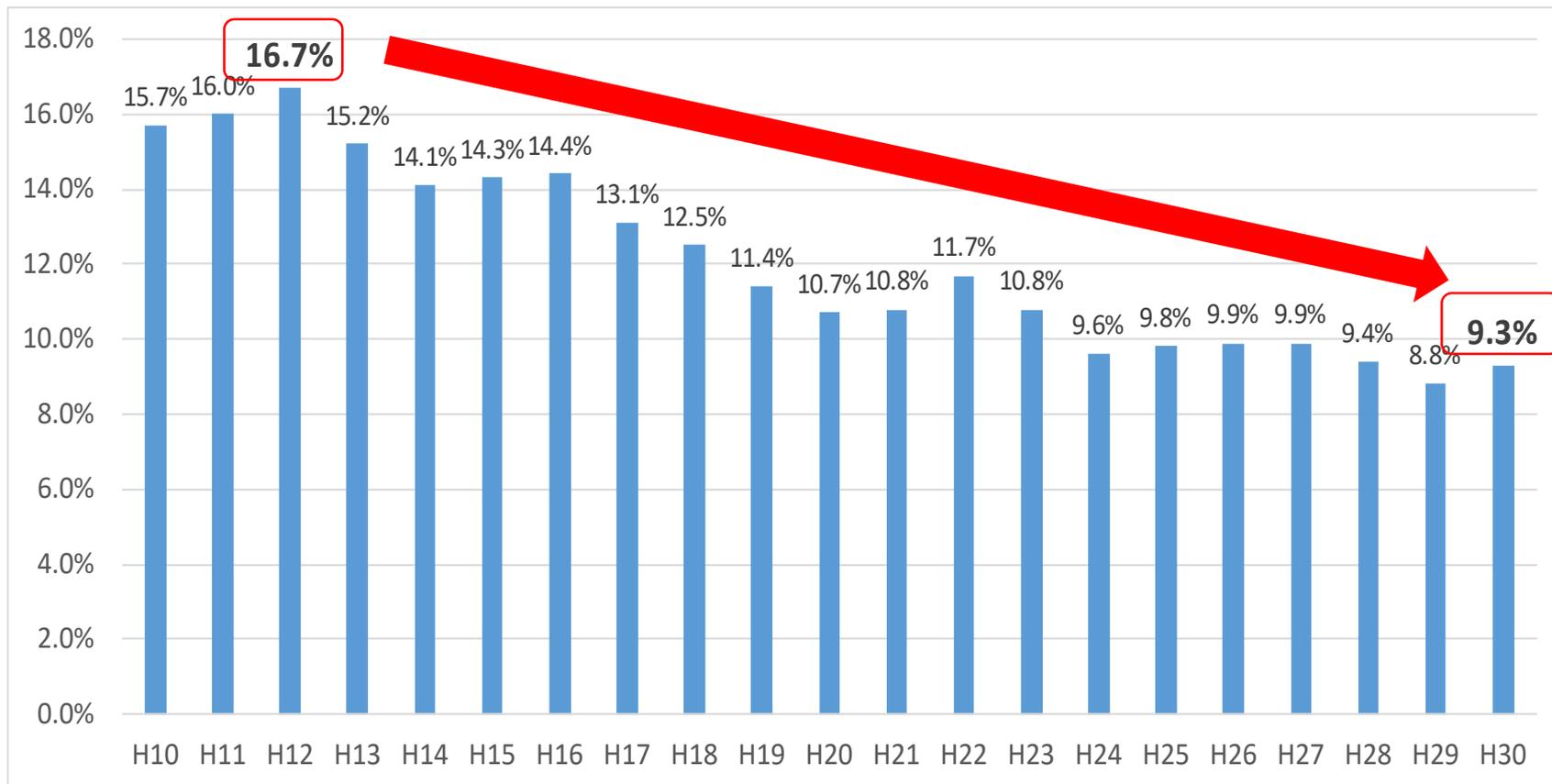
NIMSポストドク（若手独立研究者）

※前期データのみ

年 度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
応募者数 (外国人)	94 (86)	169 (149)	182 (165)	183 (163)	185 (176)	205 (189)	143 (129)	259 (251)	304 (295)	176※ (171)
採用者数 (外国人)	9 (6)	10 (7)	10 (5)	11 (7)	6 (3)	9 (6)	9 (4)	5 (4)	8 (4)	進行中
定年制で採用 された数(外国人)	4 (2)	3 (1)	5 (2)	4 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (0)	—	—	—

日本人若手の応募が減っている！

修士課程から博士後期課程への進学状況



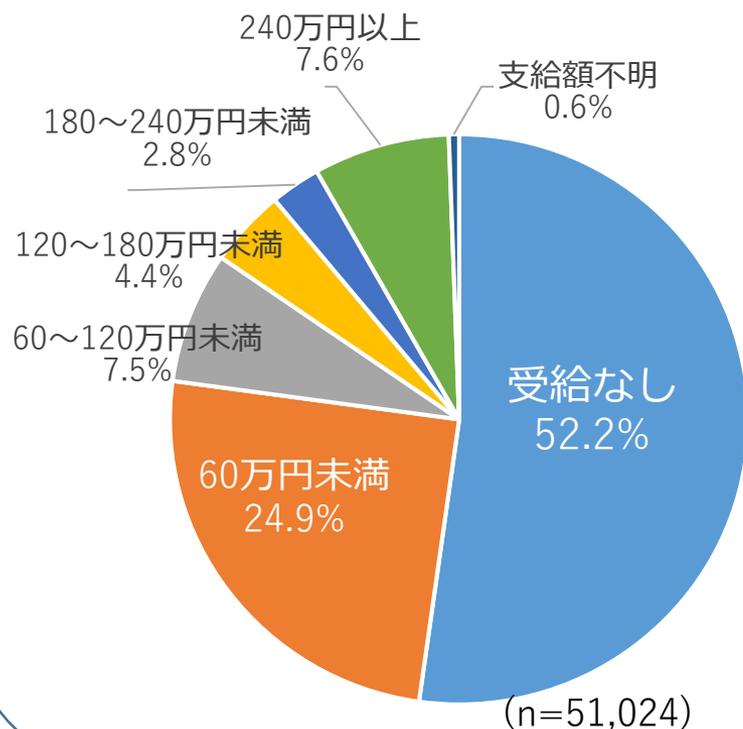
出典：「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」（令和2年1月23日 総合科学技術・イノベーション会議決定）

日本人博士課程進学者が減っている
研究力低下主要因の一つ

博士課程学生の経済的支援の現状

一人あたりの年間支給額 (授業料減免措置を含む)

平成27年度



生活費相当額受給者数

財源名	受給者数
特別研究員 (DC)	2882人
博士課程教育リーディングプログラム	637人
運営費交付金等	320人
国費留学生	218人
民間団体 (企業等) 等の奨学金制度 (返済不要のもの)	191人
科学研究費助成事業	33人

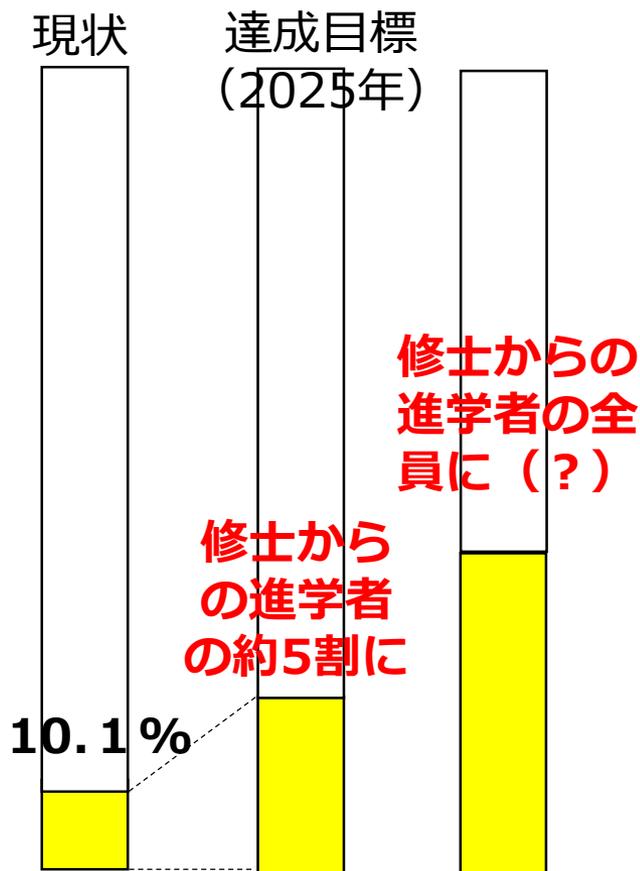
博士後期課程学生の処遇向上

博士後期 在籍学生数



2018年

生活費相当額受給者 (180万円以上/年)



出典：CSTI基本計画専門調査会資料
R2.11.18を基に作成

経済的支援財源の日米比較

米国では研究費+大学奨学金による支援

- ・競争的資金をとれる研究者にのみ
- ・奨学金を出せる大学にのみ

研究者、大学間の競争

わが国ではDC制度の一本足打法

- ・学生自ら獲得する

学生間の競争

教員の優劣に関係なく

そして

社会的要請とも関係なく

多様な財源による優秀な博士後期 課程学生の処遇改善

- ・ 特別研究員制度(DC)の充実（文科省）：**学生間の競争**
- ・ 競争的資金、民間資金での直接雇用促進（文科省、経産省、内閣府、その他）：**教員間の競争**
- ・ 間接経費等の大学資金による大学独自の奨金制度促進（大学、文科省）：**大学間の競争**

あるべき姿の共有

優秀な学生のみが博士課程に進学し、博士号を取得できる
(優秀でない学生は学位取得ができない)

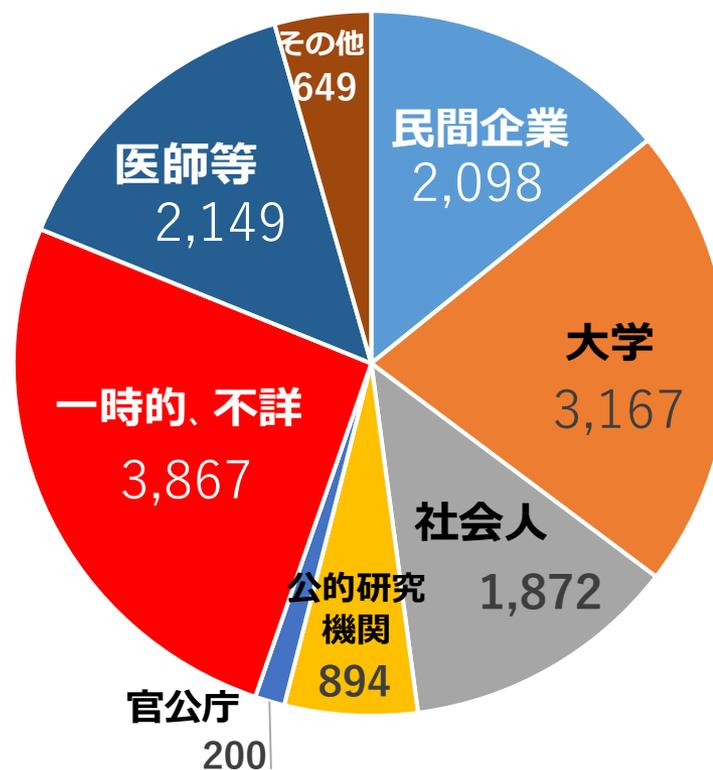
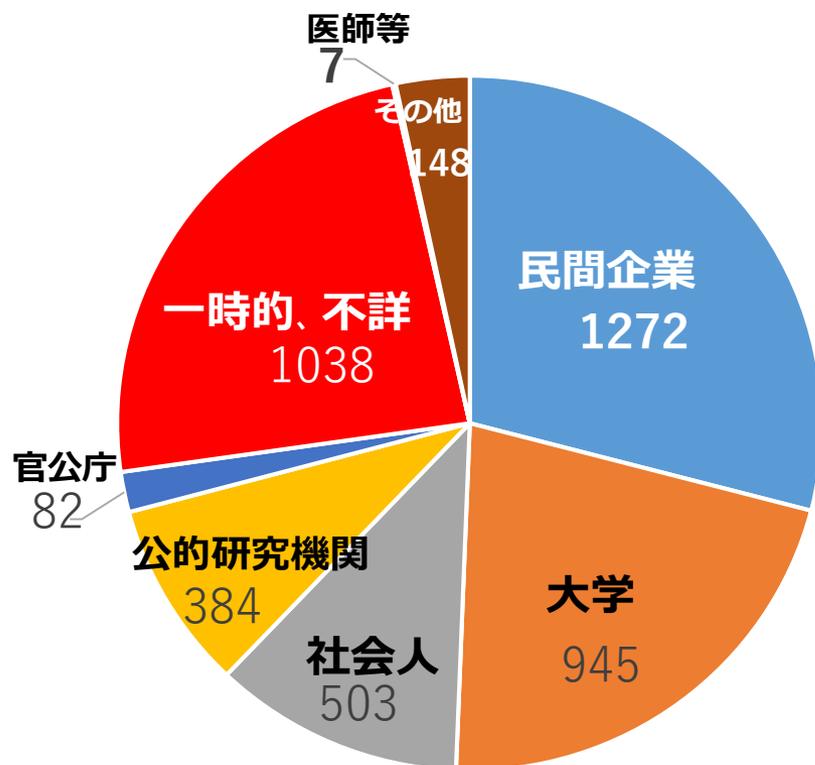
そのためには

- ・ 定員充足率を大学評価から外す（文科省）
- ・ 学位審査を厳格に（大学）
- ・ 教員評価の在り方（大学、社会）

博士号取得者の進路先 (2016年)

理・工 (4379名)

全分野 (14,896名)



資料：文部科学省「大学院における「第2次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態の把握及び分析等に関する調査研究」、
「大学院における「第3次大学院教育振興施策要綱」等を踏まえた教育改革の実態把握・分析等に関する調査研究」を基に作成

研究者のキャリアパス拡大

学位取得者がほとんどすべてアカデミアにつくなどということはありません

⇒ **産業界へのパスを太くすることしか本質的解決策はない**

- ・産業界が喜んで採用する学位取得者を
- ・アカデミアに残れなかったから産業界へ、ではなく、産業界へ行きたくなるための環境づくり ⇒ 産業界とアカデミアの壁を限りなく低く

産学共同研究推進、産学採用マッチング制度、インターンシップ制度

ジョブ型研究インターンシップの概要

- ・研究遂行の基礎的な素養・能力を持った大学院学生による**「長期」**かつ**「有給」**の研究インターンシップ
- ・大学院の正規課程に**「単位科目」**として位置づけ、選択必修科目に
- ・インターンシップの結果を、**企業の採用選考活動に使用を可能に**

ポストク・大学院生に向けた 産総研の人材育成の取り組み

- ・ 産総研イノベーションスクール
- ・ オープンイノベーションラボラトリ(OIL)
- ・ 産総研リサーチアシスタント(RA)

産業技術総合研究所
理事/材料・化学領域長
村山宣光

産総研イノベーションスクール概要

国内民間企業等でのイノベーション創出に意欲のある若手研究者(ポスドク、大学院生)を対象とした1年間の人材育成スクール

1年間のカリキュラム

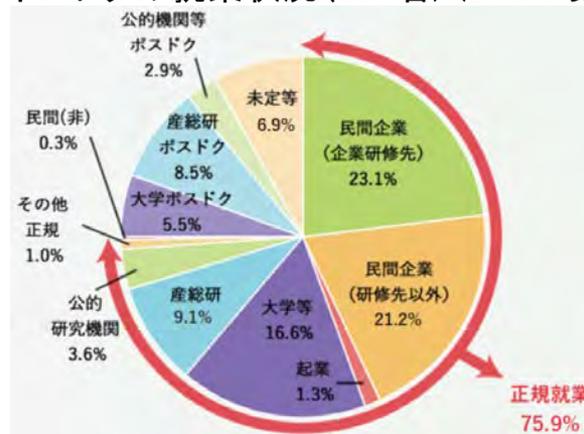


産総研イノベーションスクール実績

(2019年7月1日 現在)

- 開始年度:平成20年度
- 総数:519名(内ポスドク307名)
- 研修先企業:205社
- 民間企業就業率:44.3%(ポスドク)

ポスドクの就業状況(307名)(2019.7.1現在)



オープンイノベーションラボラトリ(OIL) と産総研リサーチアシスタント(RA)

OIL概要

大学キャンパス内に設置する産総研サイト

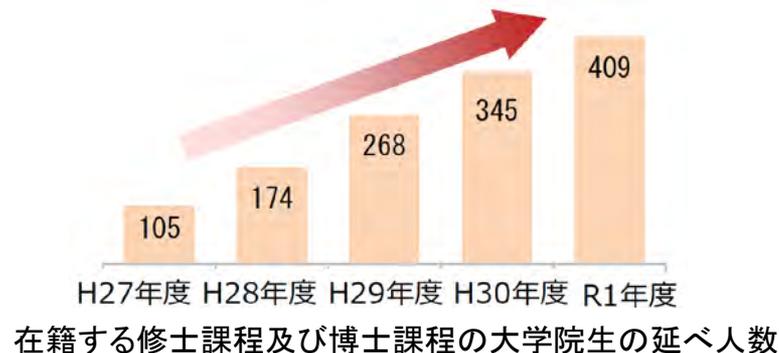


OIL一覧(計10件)

- 産総研・名大 窒化物半導体先進デバイスオープンイノベーションラボラトリ(GaN-OIL)
- 産総研・東大 先端オペランド計測技術オープンイノベーションラボラトリ(OPERANDO-OIL)
- 産総研・東北大 数理先端材料モデリングオープンイノベーションラボラトリ(MathAM-OIL)
- 産総研・早大 生体システムビッグデータ解析オープンイノベーションラボラトリ(CBBD-OIL)
- 産総研・阪大 先端フォトニクス・バイオセンシングオープンイノベーションラボラトリ(PhotoBIO-OIL)
- 産総研・東工大 実社会ビッグデータ活用オープンイノベーションラボラトリ(RWBC-OIL)
- 産総研・九大 水素材料強度ラボラトリ(HydroMate)
- 産総研・京大 エネルギー化学材料オープンイノベーションラボラトリ(ChEM-OIL)
- 産総研・東大 AIチップデザインオープンイノベーションラボラトリ(AIDL)
- 産総研・筑波大 食薬資源工学オープンイノベーションラボラトリ(FoodMed-OIL)

産総研リサーチアシスタント(RA)制度

大学院生を産総研リサーチアシスタント(RA)として雇用し、産総研の研究者と共に国の研究開発プロジェクト等に参画すると共に、その研究成果を学位論文に活用できる人材育成制度



OIL × RA



博士後期課程
進学者数の増加